

2020年2月20日

学生 各位

職員 各位

学校法人京都薬科大学危機管理対策本部

本部長 土屋 勝

【重要】新型コロナウイルス感染症における本学の対応について

新型コロナウイルスの感染に係るニュースが連日報道されており、日本国内の発生事例も日々増えている状況です。このような状況を踏まえ、本学では、新型コロナウイルス感染症に係る総合的な対策を推進することを目的として、学内に「危機管理対策本部」を設置しましたので、お知らせします。

については、感染予防及び感染疑いがある場合は、下記の点に留意のうえ、対応してください。

対策本部では、学生及び職員の感染状況の把握に努め、全学的な措置や対応等について、メールやホームページ等を通じて逐次お知らせします。

記

1 感染症対策について

通常の感染症対策と同様に、以下の対策を徹底してください。

(1) 手洗い

最も重要なのは、こまめな手洗いです。石けんと流水での洗浄後に手を乾燥させ、その後にアルコール消毒液を使用するのが効果的です。（汚れた手や濡れたままの手でアルコール消毒液を使用しても、消毒効果は半減します。）

また、汚れた手で顔を触ると、口・鼻・眼経路で感染リスクを高めるので、普段から顔を触る癖のある人は注意しましょう。

(2) 各自の健康管理

免疫力を維持するために、睡眠と栄養を十分に取り、体を冷やさないようにしましょう。（睡眠不足・栄養不足、体温低下は免疫力を落とします。）

(3) 不要不急の外出の自粛について

当面の間、人が集まるような場所への不要不急の外出をできるだけ控えるように努めてください。

(4) 咳エチケットについて

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方うつす可能性がありますので、咳エチケットに努めてください。

(5) マスクの着用について

最も有効的なマスク使用は、ウイルスを飛沫させないために咳・くしゃみ症状のあ

る人が着用することです。また、高齢者・持病等で免疫力が低下している方や、寝不足・疲労等で抵抗力が落ちている方にも、マスクの着用をお勧めします。
健常者のマスク着用については、一定の効果は期待できても、マスクの隙間や眼からの感染リスクもあるため、完全に予防できるものでは無いことをご理解ください。

2 新型コロナウイルスへの「感染」または「疑い」のある場合について

新型コロナウイルスへの感染が「疑われる」または「確認された」場合は、速やかに下記の担当部署まで連絡してください。

【学生の場合】 学生課（075-595-4614：平日 8:45～17:15）

【職員の場合】 庶務課（075-595-4600：平日 8:45～17:15）

※土日祝日及び平日の時間外は、警備員室（075-595-4611）に連絡してください。

3 発熱時の対応について

風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合は、無理をせずに自宅で休養するとともに、居住地の「帰国者・接触者相談センター」に相談し、同センターが指定する医療機関で受診してください。

なお、診断結果については、上記2の担当部署まで報告してください。

【新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html

4 中国への渡航について

外務省は、中国への渡航に関する危険情報を湖北省全域、浙江省については、レベル3（渡航中止勧告）、中国のその他地域については、レベル2（不要不急の渡航中止）の措置がとられる等、入出国管理が強化されている状況ですので、本学の学生及び職員についても同国への不要不急の渡航を禁じます。

【関連情報リンク】

○厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

以上